

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」草津駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である			・予定表を見ながらスペースの確認を行っている。	
	②	職員の配置数は適切である			・支援に対しての数が確保できるようシフトの調整などを行っている。	・見守り電話番号等で足りないと思う事はある。予定表を見ながら職員間で動くようにする。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている			・入室時の階段やトイレに段差があるため声を掛けたり場合によっては手を添えるなどしてフォローしている。	・引き続き状況に応じて対応していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている			・人数によってパーテーションで仕切るなどしている。	・利用者に合わせて部屋の割り方を検討していくようにする。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			・評価表や普段の関わりの中で意向を確認しながら業務改善に繋げている。	・保護者の意向を確認しやすい環境を整えていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している			・受けられない場合は報告書や録画されたものを見る	・研修内容の共有をしっかりと行っていくようにする。

				などして研修を受けている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している			・職員と保護者、職員同士の話し合いでより良い計画を検討している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている		・チームや個々で相談しながら行っている。	・職員同士で集まる時間を確保できるようにしていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		・職員間で相談しながら支援内容を検討している。	・引き続き支援内容を共有し、職員皆で検討していけるようにする。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している		・主に個別支援だが、集団活動を想定した内容を取り入れたりしながら計画を作成している。	・その子どもに何が必要かを考えて計画を作成していけるようにする。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		・職員が揃う時間に打ち合わせを行うようにしている。また、事前に打ち合わせを行うなどしている。	・時間が取れない場合はメモや社内ツールを使用しながら内容を共有できるようにしていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		・終了後、必ずではないが必要に応じて情報共有を行っている。	・時間が取れない場合はメモや社内ツールを使用しながら内容を共有できるようにしていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		・支援記録の徹底と適宜確認しながら支	・引き続き徹底できるようにしていく。

				援内容を検討している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	・継続して行えるようにしていく。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		・関係機関で連携会議等を行う事もあり、そこで得た内容を踏まえて支援を行っている。	・連携を行った際は職員間で共有していき、職員間でも連携していけるようにする。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		・該当者なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		・該当者なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		・市内児童発達支援事業所が集まり研修を行うことがあり、それを受けている。	・引き続き機会があれば参加できるようにしていく。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		・定期的に地域の自立支援協議会に参加している。	・引き続き参加できるようにしていく。

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている			・校舎ミーティングや個人間で共有しながら共通理解を持っている。	・引き続き共通理解を行う時間を持てるようにしていく。
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている				
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている			・見学、体験、契約時に必要に応じて説明を行っている。	・引き続き丁寧に説明を行うようにしていく。
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている				
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている			・適宜保護者様から相談があった場合は対応して助言や支援を行っている。	・今後も必要に応じて支援を行っていくようにする。
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			・現在行えていないが、機会を見て開催できるように準備を行うようにしている。	・必要に応じて場を設定できるようにしていく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している			・体制の整備は契約時重要事項説明書に記載がある事を伝えている。実際に苦情があった場合は適宜対応している。	・必要に応じて早急に対応できるようにしていく。
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			・事業所のブログがあるがあまり発信できていない。	・発信の回数を増やせるようにしていく。
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意している			・個人ファイルは鍵付き倉庫に保管し、目につかないよう注意している。	・引き続き管理には十分注意をしていく。
	⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている			・絵カードを用いることがある。	・今後も伝え方など配慮しながら情報を伝えられるようにしていく。

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			・積極的に行えていない。	・機会を見つけて開催していきたい。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している			・各マニュアルは策定しているが周知は十分でない。	・周知が出来るように職員に案内したり、保護者にも説明を行うようにする。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			・定期的に防災訓練を実施している。	・継続して行っていく。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している			・見学体験契約の時や場合によって都度確認している。	・必要に応じて対応できるようにしていく。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			・状況に応じて作成し、共有している。	・今後も状況に応じて対応していく。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			・定期的に研修を行っている。	・引き続き研修の機会を設けていくようにする。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			・身体拘束について契約時に説明を行っている。	・今後も十分に説明を行い、状況に応じて対応できるようにしていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」草津駅前校

保護者等数（児童数）：29 回収数：21 割合：72%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	0	0	0	・広い、フラットで良い。	・引き続きスペースが確保できるようにパーティションなどで区切りながらスペースを確保していく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	0	0	0	・1対1で対応してもらえて安心である。	・今後も各々の専門性を活かして丁寧に関わっていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	1	0	3	・本や遊具など見やすく整理されている。本人が好きな物を見つけやすい。	・引き続き利用者様が安心して利用できる環境を整えていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	1	0	0	・心地よく、活動に合っている。 ・いつもきれいである。	・引き続き清潔な環境を保てるよう掃除、消毒を徹底していく。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20	0	0	1	・こちらの思いを理解して、本人の成長に繋がるよう、作成して下さる。	・保護者様のニーズを校舎全体で捉えて支援に還元していけるように今後も取り組んでいく。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支	19	0	0	2		

		援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか						
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0	1	・いつも丁寧な支援をして頂けるのでありがたい。	・計画に沿った支援を適切に行えるように今後も職員間で共有していく。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	0	0	0	・毎回違った活動を準備して下さっているので本人にとってよい刺激になっている。	・今後も本人のニーズの合わせながら、その時必要な支援を様々な方法で提供できるようにしていく。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	6	12		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	0	0	0	・見学、体験の時からどの内容の説明も丁寧にして下さっている。	・引き続き丁寧な説明を心がけ、安心してもらえるようにしていく。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	8	0	4	・本人と先生のやり取り、関わり方を見て毎回勉強させてもらっている。	・ご家庭でも行えそうな内容の提示や、声掛けの方法を今後も共有できるようにしていく。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	0	0	0	・毎回伝えて頂いて分かりやすい。 ・丁寧なフィードバックがあるので、その時に確認し	・支援後の振り返りを丁寧に行い、保護者様と情報を共有できる状態を保っていくようにする。

							合えていると思う	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	3	0	0	・沢山話を聞いてもらえるので、その時に励ましてもらったり勇気づけられている。	・適宜保護者様に対して相談や面談を行い、安心して過ごせるようにサポートしていく。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	6	7		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1	0	1	・通う日や曜日の変更、悩みの相談に対して対応してもらえてありがたい。	・引き続き保護者様側からの発信も丁寧に受け止めて可能な限り早急に対応していくようにする。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	2	0	1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	3	1	7		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	19	0	0	2		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	1	1	4		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1	3	6		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1	0	1	・楽しみにしている。嬉しそう。 ・最近幼稚園で疲れている。 ・「次はいつ行くの」と通うのをとても	・楽しみな思いを持ち続けてもらえるように今後も支援など行っていきたい。 ・その時の様子で疲れている時などはプログラムを変更したりして負担

							楽しみにしている。	の少ないように対応していく。
②③	事業所の支援に満足しているか	21	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・満足している。いつも丁寧な対応で嬉しい。 ・本人も親もとても満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・満足し続けて頂けるように、支援の内容を校舎内で検討したり、保護者様と相談しながら進めていくようにする。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。